

湯梨浜中学校だより



湯梨浜町立湯梨浜中学校 校長 武田基資（令和3年11月2日）

校内文化祭を終えて

先週末の校内文化祭では、お陰様で新型コロナの感染も抑えられ予定どおり開催することができました。感染対策で保護者の皆様には制約の中での参観となりましたが、その中でも多数ご来場いただき、生徒の活躍を見ていただいたことに感謝申し上げます。今年度立ち上げられた中部教育局の学校感染対策チームの助言も受け、生徒の席の間隔を広げることや観客席の消毒など、昨年以上の対策をとりました。また、合唱時の前後左右そして上下の間隔も充分広げた結果、最前列は台の無い状態となり、生徒の姿が見えづらかったかもしれません。急な依頼にもかかわらず保護者席の消毒ボランティアに参加していただいた方を含め、皆様には様々な対策にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

この状況下でも生徒たちはしっかり力を発揮してくれました。展示発表もステージ発表も日頃の学習、取組の成果をお伝えするものですが、そこには単に発表するだけでなく、生徒会執行部が企画したオープニングイベントのように、随所に生徒なりに考え、工夫した結果が表現されていました。全ての人に考えを伝えきるという面では、まだ不十分かもしれませんが、伝えようという気持ちは表れていたように思います。



特に合唱コンクールは点数が付くので勝負ごとになってしまいがちですが、作者が歌に込めた思いを感じながら聴衆に自分たちの心を届けようとする姿が見られました。（この心のこもった合唱を28曲聞いて審査するのは大変でした。）さすがに三年生の合唱は心身の成長を感じさせる質の高い、力強いもので、後輩にはよい目標になっただろうと思います。三年生は人権劇でも、演者、裏方スタッフとも一丸となって、宮沢賢治の独特の世界観に自分たちが関心を持った人権問題を織り込んで伝えてくれました。全校のみなさんには、今回の経験を活かし、考えや思いをしっかり表現し相手に伝える方法や意欲を高めていってほしいと思います。

また、生徒会副会長の閉祭式での挨拶にあったように、「みんな」で創り上げた文化祭でした。合唱の自由曲の選択から始まりステージ発表やイベントの練習も、作品の仕上げや展示も、そして来校者を気持ちよく迎えるための隅々までの掃除も含めて、一人一人が役割を果たし協力して成り立つ行事です。自分の今の取組が全体にどう役立ち、影響するかを考え、意識して取り組むからこそ、人を感動させる展示や発表ができるのだと思います。教職員も全員で役割分担して生徒の活躍を支えてきました。



副会長は最後に、「みんなで一つのことを成し遂げた今回の経験を日々の生活にしっかり活かし、これからどんどんレベルアップしていく湯梨浜中学校をつくっていきましょう」と締めくくりました。

さあ、文化祭の真価が問われるのはこれからの日々の生活です。まず一人一人が次の目標を持ってレベルアップした学校生活をめざしましょう。